

# 新年あけましておめでとうございます



新年あけましておめでとうございます。皆様には平成23年の輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

昨年は、町長就任2年目にあたり「元氣な町づくり」をキーワードに各種行政施策の推進にあたってきたところであります。

町の活性化を促す道路整備については、国道123号バイパスや関連する主要地方道日立笠間線の整備をはじめ、町内幹線道路の整備促進により町の骨格づくりに努めてまいりました。また、雇用対策や税収アップなどを目的とした企業誘致については、エネルギー開発の象徴的な存在であるEV(電気自動車)を中心に地球環境に配慮した施設誘致を図るため、各般にわたる対応を進めてまいりました。

懸案の町内小学校の再編と常北中学校の建設につきましては、関係者の皆さん方のご尽力により進行中であり、児童・生徒にとってより良い教育環境の確保のために鋭意努力していく所存であります。

少子高齢化の波が日々押し寄せており、各家庭はもちろん、集落や地域においても後継者と言える若者が減少してきております。高齢者福祉の推進や働く場所の確保が急がれるところでありますが、本年度改正さ



城里町長  
阿久津 藤男

れた過疎地域自立促進特別措置法に基づき、町として平成27年度までの6年間の整備計画を決定いたしましたので、関係機関や住民の方々のご知恵と協力を得ながら推進していきたくと考えております。

国内の経済情勢の先行きは依然として不確実な様相を呈しておりますが、昨年末の臨時国会において新たな経済刺激策の補正予算が決まりましたので、内容を精査したうえで、町の活性化のために最大限活用できればと考えているところであります。合併後6年が過ぎようとしておりますが、1日も早く城里町のカラーを出すことが緊急の課題であると考えており、町民の皆様のご協力を得ながら各種事業の適切な推進を図り、明るく元氣な城里町建設に邁進する覚悟でございます。

結びに、平成23年が町民の皆様と城里町にとって幸多い年でありますようご祈念申しあげ、年頭のごあいさつといたします。



城里町議会議長  
小松崎 三夫

新年あけましておめでとうございます。平成23年の年頭にあたり、城里町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

昨年は、城里町議会議員一般選挙が行われ、町民の皆様のご付託を受けた16人の議員による、新しい議会がスタートいたしました。この間、町民の皆様方には、温かいご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今日の経済情勢は、一昨年来の世界的な景気後退にやや持ち直しの動きがあるものの、雇用環境については失業率が過去最高水準となるなど、一段と厳しい状況にあります。

さらに、少子高齢社会の到来、医療保険、年金の制度改革、地球温暖化など環境保全への対応や、著しい情報化の進展等により、地方行政を取り巻く環境は誠に厳しく、まさに行政の真価が問われている時といつても過言ではありません。

このような中、本町では「第1次城里町総合計画」に基づき、未来に向かい、着実に前進できるような積極的にまちづくりを進めておりますが、お年寄りにも若人にも十分魅力ある活力に溢れた地域社会を実現することが何よりも肝要であると考えております。

議会といたしましても、城里町が抱える課題の解決に向け、議員一人となり、どのようにすれば豊かで魅力ある「城里町」が創造できるか真摯に考え行動してまいる所存です。

今後、地方分権改革の進展に伴い、地方公共団体の自己決定と自己責任の範囲が拡大する中で、意思決定機関である地方議会が担う役割は一層重要となつてまいります。地方分権時代の議会のあり方として、議会の制度面における機能や活動を拡充強化し、地域の実情に応じた議会運営が十分発揮できるよう議会改革なども検討し、町民の皆様方のご期待に沿えるよう努力してまいります。

今後とも、町議会により一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。また、平成23年が皆様にとりまして幸せな年でありますようお願い申し上げます。新年のごあいさつといたします。